

<p>第24回 大田区移動等円滑化推進協議会 (書面会議) 意見まとめ</p>	<p>日時 : 令和2年12月28日(月)～ 令和3年1月20日(水) 会場 : 書面会議のため、なし</p>
<p>■議事 (1) 大田区移動等円滑化促進計画の改定スケジュールについて</p> <p>■配布資料 ・移動等円滑化促進計画スケジュールについて</p>	

■意見まとめ

1.大田区移動等円滑化促進計画の改定スケジュールについて

委員長 : 今般の社会情勢の期間中においても可能な限り見直しの為の課題を洗い出し共有できるようにお願いします。

副委員長 : まち歩き点検について、かなりの回数が想定されますが、時期として夏頃に行うと参加者への負担が懸念されるため、早めのスケジュールリングで夏を避けるように実施していただけると良いと思います。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、別の方法での実施の可能性についてもご検討していただけると良いと思います。

WEB会議ですと、特に当事者の方の参加が容易である観点から充実した参加が見込めます。

2.その他の意見

委員長 : バリアフリー化の状況(生活関連施設)について取りまとめをお願いします。
バリアフリー法の改正の為の考え方をどうするか、事務局案をお願いします。

委員 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止については、個々の責任において万全の対策を講じても防ぎきれないように思われますが、区の方針・対策について書面にて具体案を出していただけると協議会を今後も続けていけるよう皆様の意見を伺います。

委員 : 歩道の点字ブロック、音響式信号機、エスコートゾーン及びいろいろな音のサインは、視覚障害者の安全な移動確保に重要なものです。

ただ、広報が足りず、折角設置したのに利用されない場合がある。

障害者がよく利用する施設などに「地域資源マップ」があればと思います。

また、視覚障害者にとって利便性が高くても、他の人の便宜性を阻害する場合があります。その点は慎重に検討をお願いいたします。

ただ、多目的に便宜を図ろうとして、しばしば無目的になりがちですので注意が必要です。

路上・施設を問わず、いろいろな表示記号で移動等円滑化を図っていただければ

と存じます。

わかりやすい絵文字サインが見やすい場所、高さ、大きさを掲げるのは効果の点で重要です。高齢者、児童、外国の方にも良いと思われます。

ソフト面の充実は移動等円滑化に資すると考えます。困っている人への声掛けは、平常時災害時のもとより、防犯にも役立ちます。互譲互助の精神は、人、自転車、自動車の事故を少なくし、地域社会の安全に寄与すると存じます。

歩道にはみ出した看板や庭木なども事故につながりますので、適切な処理をお願いします。国際都市大田にふさわしい街づくりになればと思います。

委員 : 今般の新型コロナウイルス感染症拡大防止で感じることは、感染症に対する地域態勢づくりの必要を感じます。

注意事項として出されている3密の標語を地域の目のつきやすいところに設置する。わかりやすくすぐ目に入るようなデザインにする。

これからは、新型コロナウイルスに限らず、今まで知らなかったような感染症が生じる可能性があります。区民が安心して過ごせるように、いち早く情報を周知する工夫が必要です。

委員 : 道路管理者からの提言を受け前向きに検討します。

委員 : 歩道が極めて狭いため、高齢歩行者が通行する自転車等とぶつかる事故が多発しているため、第二京浜の歩道を拡張してほしい。
(事務局側より道路管理者へ伝えることとします。)

委員 : 大田区移動等円滑化促進計画とはどのようなものであるか、今般同計画の改定が必要な理由、改定スケジュールを変更しても大きな問題は発生しない理由等を各委員に説明した方がよいと思う。

※ 委員の皆様よりいただいた意見につきましては、次回の協議会で、取組について報告いたします。